

「キラメキテラス構想」と「健康経営」について学ぶ

〈4部会合同委員研修会〉
 (情報・文化部会、総合サービス部会、商業部会、金融・不動産部会)

日時 2月18日13時〜
 場所 鹿児島商工会議所ビル
 4階アイムホール

第一部

講師
 医療法人玉昌会

理事長 高田 昌美氏

演題

鹿児島商工会議所3会員における「キラメキテラス構想」と企業における「健康経営」の重要性

概要

鹿児島県は高齢者単身世帯が全国1位であり、2015年から2045年の30年間で44・4万人の人口減が予想されている。これからはデジタル・トランスフォーメーションの時代で急激に変化するだろう。顧客はどこにいるのか。人口減少する未来を、いかに生き残るかを考えた。

キラメキテラス構想のコンセプトは、「30年後の鹿児島への贈り物」である。未来が必要とする社会生活支援サービスを提供する。また、鹿児島市に津波が来ても対応できる設計をしている。キラメキテラスは、「健康で幸せな未来」をテーマにしたまちづくりをすすめており、2023年3

月にグランドオープン予定だ(図1)。南国殖産(株)を幹事会社とし、(公財)昭和会(医)玉昌会が、互いに相乗効果を発揮し、医療と地域経済、環境の融合をすすめている。急性期と慢性期の病院が一つになり、ホテルや商業施設、分譲マンション等を含む複合型施設が併設し、立地性にも優れたコンパクトシティの推進を図っており、地方創生の先駆的事業となっている。

キラメキテラスヘルスケアホスピタルは、ゼロ動線病棟であり、病院建築物として国内で初めて意匠登録された。鹿児島県の医療業界は生き残りの時代を迎えている。生き残るためには、病院は医療機能を高め、地域に必要とされる病院になるしかない。

健康経営とは、従業員の健康管理を促進し、健康維持に努めることで企業の生産性の向上を図るものである。激減する生産年齢人口の確保は経営の生命線とも言え、健康管理の徹底が重要である。これを機会に健康経営に取り組みみてはどうかだろう。



図1.2023年にグランドオープン予定のキラメキテラス

第二部

講師

医療法人玉昌会

法人事務局チーム医療推進部

中村 真之氏

演題

健康経営の取り組みの実例

概要

人材を確保し、長くいきいきと企業で働いてもらえる環境づくりが、継続した企業活動には不可欠と考える経営者が増えている。日本は超高齢社会であるが、健康で長生きすることが可能になれば、社会は必然的に高齢化する。人生100年時代と言われ、与えられた時間をいかに楽しく、健康に生きるかが大事になってくる。

新型コロナウイルス感染症によるテレワークの普及で「肩こり」「精神的なストレス」「腰痛」等の健康被害があり、運動する機会が減少し、体重が増加する傾向にある。テレワーク中の労働安全管理やストレスの軽減を図るため、生涯を通じた健康医療介護情報システムの構築が必要だ。

健康経営とは、従業員の健康保持・増進の取り組みが、将来的に収益性等を高める投資であると経営的視点から考え、戦略的に実践することである。組織の活性化をもたらす、業績向上や組織としての価値向上へ繋がることが期待される。

健康経営優良企業は長期的な業績が良好であるという研究結果が示されており(図2)、離職率も低い傾向

にある。健康経営の導入にあたって必ず行つてほしいことが、経営者が健康宣言を行うことだ。その次に担当者を決め、できる取り組みから始めることが重要である。

健康経営には顕彰制度があり、玉昌会は健康経営優良法人(大規模法人部門ホワイト500)という全国上位500社に与えられる部門で認定を取得した。健康経営を実践している法人として、健康経営の進め方や心身の健康維持・増進のためのノウハウを広く公開し、地域での健康経営普及に取り組んでいく。

健康経営に取り組む企業の業績(アメリカ)

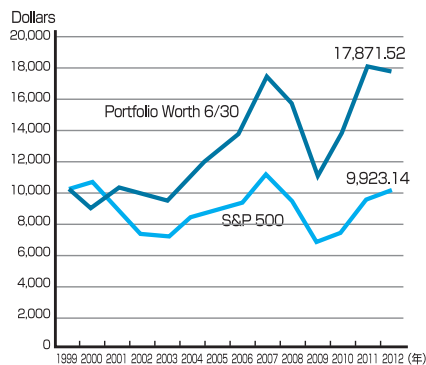


図2.健康経営に取り組む企業の業績(アメリカ)



※感染防止対策をとった上で開催